

浚渫土減容化技術 公募結果および新しい調査計画について

●公募結果

○ 公募数について

公募の結果、16 技術の提案があった。

○ 公募結果

回答ならびにヒアリング結果は以下のとおりである。

- 1) 各技術ともに減容化処理土により海面埋め立てした地盤の強度については、公募で提示した範囲内の値が提案された。
- 2) 海面埋立後の地盤の密度（脱水ケーキではない）については明確な提案はなく、既往の事例からも密度に関わる信頼性のある情報は得られなかった。
- 3) 現地試験計画修正に関する提案があった。

○ 提案技術の評価

提案技術の多くが、浚渫土砂を脱水するという観点では実績を有するものであった。しかしながら、各技術提案には、海中埋立後の地盤としての密度と強度との関係について十分に検討を加えるための実績データが存在せず、作製した減容化処理土を腹付けの材料として利用するという観点で技術の評価が不十分である。

このため、当初計画の大規模実験を修正し、護岸の腹付け・嵩上げの設計に必要な地盤の密度、強度、ならびにそれらの関係を求めるためのパラメトリックな実験を行うことが必要である。

●新しい調査計画

○ 新しい調査計画の内容

腹付け土の設計に必要最小限の情報として、海面埋立（或いは、海面埋立を模擬して）、減容化処理土地盤の粒度分布、かさ密度、せん断強度、ならびにそれらの関係を解明する必要がある。このため、脱水ケーキを作製するプレス試験、海面埋立を模擬した小規模現場試験、室内試験を、官民で分担して行うこととする。

○ 新計画の概要

新しい試験計画は、以下のとおりである。

1) 現場試験

・プラントの性能（品質管理、施工管理）

材料特性、脱水効率

・腹付け土を模擬した土塊群の特性

密度、安息角、粒度、強度（コーン試験）

2) 室内試験

・脱水ケーキの物理特性

密度、含水比、飽和度、圧密特性、強度（針貫入試験、一面せん断試験）

・腹付け土を模擬した土塊群の特性

強度（標準試料による大型一面せん断試験、薄層試料による中型一面せん断試験）

以上